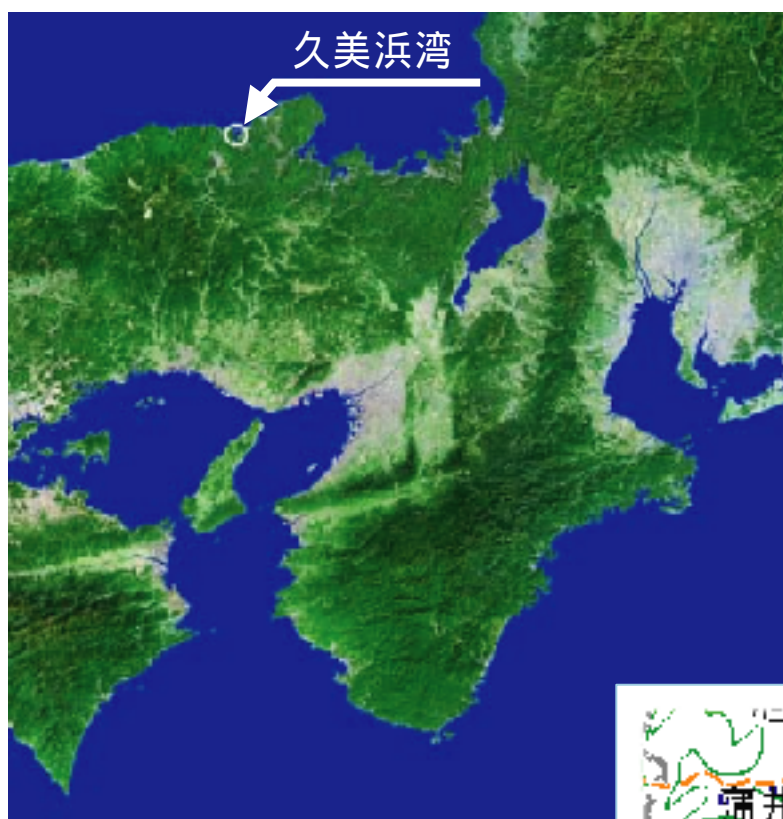


海域の概要

本湾は、日本海とは砂嘴で隔てられた内湾で、湾内ではカキの養殖が盛んです。日本海側の沿岸は6 kmにもおよぶ白い砂浜となっており、夏は海水浴客で賑わいます。



Specification

諸元

湾口幅：0.05 km

面積：6.93 km²

湾内最大水深：2.0 m

湾口最大水深：2 m

閉鎖度指標：5.2650

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

京都府久美浜港南防波堤灯台から 233 度に引いた線及び陸岸により囲まれた海域。

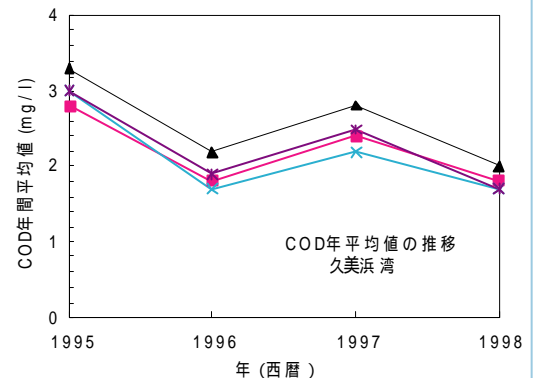


環境

日本海と細い水路でつながれた閉鎖性の高い湾で、湾内には佐濃谷川、川上谷川、久美谷川、栃谷川が流入していることもあり、水質悪化が進んでいます。

COD年平均値では2mg/l弱から3mg/l程度となっています。

底質は主に砂泥質となっています。



自然

久美浜湾は、日本海と砂州「小天橋」によって隔てられた風光明媚な汽水湖で、山陰海岸国立公園に指定されています。また、湾内一帯は鳥獣保護区に指定され、冬には大白鳥が飛来し、ガン、カモ、カイツブリなどの多くの野鳥が観察できます。

湾内には、アマモ場が広がり、チヌやヒラメ等の魚類の生息場となっています。

湾内では、ハゼ釣り等が盛んで、多くの釣り人が訪れます。

温泉が多く湧出し、名勝、旧跡も多く、これらがすばらしい景観をつくり、平成8年には国民保養温泉地の指定を受けました。

また、日本海岸の小天橋は、白砂青松の雄大な6 kmのロングビーチで「日本の水浴場 88選」にも選ばれています。



夏の久美浜湾

文化歴史

かつて久美浜は、日本と大陸との交流拠点となる国際港として、但馬、丹後、丹波、若狭を含めた丹後王国として発展してきました。久美浜湾に長く突き出す大明神岬には、11基からなる古墳群、四道將軍丹波道主命の墓地が見られます。湾岸には如意寺、本願寺、遍照寺、蛙児神社、熊野神社等の史跡があります。



如意寺

産業

湾内は、カキ養殖やコノシロ、シロウオなどが漁獲され、カキやコノシロ(コハダ)を背割りにし、酢漬けにし、甘酸っぱく炒ったおからを詰めた「このしろ寿司」、鯛煎餅、シロウオの「いさざ」などが特産品として有名です。農業では、久美浜の砂丘地や丘陵地を活用して、スイカ・ナシ・マスクメロンの栽培も行われています。

また、海水浴場として親しまれ、現在はウィンドサーフィンやゴルフ等の観光レジャー産業も発展してきています。